



9th IAAF
WORLD CHAMPIONSHIPS
IN ATHLETICS COIN PROGRAM

<報道用資料>

平成15年 8月20日

フランス国立造幣局 鑄造・発行／大会組織委員会 承認
第9回世界陸上競技選手権パリ大会
公式記念コイン
8月25日（月）より国内販売開始

泰星コイン株式会社（本社：東京／社長：岩村 徹）は、フランス国立造幣局(モネ・ド・パリ) 鑄造・発行、大会組織委員会承認の『第9回世界陸上競技選手権パリ大会公式記念コイン』の日本国内での予約販売を全国の主要金融機関などを通じて8月25日（月）より開始いたします。

世界陸上(世界陸上競技選手権)は、1983年にフィンランドのヘルシンキで第1回大会が開催されてから今年で9回目となり、パリで開催される今大会は参加国がオリンピックを上回る210の国と地域から約2千人の選手が出場し、今やオリンピック、サッカーのワールドカップと並ぶ世界三大イベントとなりました。また、別名「世界新記録大会」ともいわれる程数多くの世界記録が誕生しており、その規模、内容ともに世界中が注目する大会です。

今大会は、サッカーのワールドカップフランス大会メインスタジアムとして記憶に新しいスタッド・ド・フランスで行われ、この大会を記念して開催国フランス国立造幣局が大会組織委員会の承認を得て公式記念コインを発行することになりました。

発売されるのは、3種類のデザイン<ランナー/COURIR><ジャンパー/SAUTER><スローワー/LANCER>で、それぞれに20ユーロ金貨と1・1/2ユーロ銀貨の2種類があり、20ユーロ金貨が各84,000円／発行限度数各3,000枚、金貨の3種セットが252,000円／対日限定800セット、1・1/2ユーロ銀貨は3種セットのみの販売で25,200円／対日限定2,500セット、また<ランナー/COURIR>のデザインのみにより100ユーロ金貨があり714,000円／発行限度数999枚／対日限定500枚となっています。

●大会メインテーマ「走る」「飛ぶ」「投げる」と大会エンブレムをデザインに採用

このコインには、大会のメインテーマである「走る」「飛ぶ」「投げる」という陸上の象徴的競技を3種類のデザインテーマに採用し、短距離走、走り高跳び、砲丸投げの選手が肉体の極限に挑むそれぞれの競技シーンを美しく生き生きと描きました。

また、選手の背景にはセヌ川にかかる代表的な橋を描き、アテネオリンピックへの架け橋をメッセージとして込めました。共通の裏面には勝利者のシルエットを表現した大会エンブレムと、表彰台にフランスのモットーである自由・平等・博愛の文字、フランスを代表する建造物が描かれています。

※「COURIR」「SAUTER」「LANCER」はフランス語でそれぞれ「走る」「飛ぶ」「投げる」の意。

●メダルの重みにも似た重量感あふれる155.55gの100ユーロ金貨

3種類のデザインにはそれぞれ20ユーロ金貨と1・1/2ユーロ銀貨がありますが、その他に<ランナー/COURIR>のみに100ユーロ金貨を用意しました。これは重量155.55g、直径50mmという重量感溢れるサイズで、発行限度数999枚と大変貴重なコインです。

●フランス大会の思い出を永遠に

100ユーロ金貨は品位99.9%と非常に高く、20ユーロ金貨が92.0%、1・1/2ユーロ銀貨が90.0%となっており、鏡のように美しく磨いた鏡面仕上げ＝プルーフ加工で、フランス国立造幣局の洗練されたデザインと高い技術で申し分のない仕上がりとなっています。





9th IAAF
WORLD CHAMPIONSHIPS
IN ATHLETICS COIN PROGRAM

第9回世界陸上競技選手権パリ大会公式記念コイン
発売概要

販売価格	■ A. 20ユーロ金貨<ランナー>	84,000円
	B. 20ユーロ金貨<ジャンパー>	84,000円
	C. 20ユーロ金貨<スローワー>	84,000円
	D. 金貨3種セット(A.B.C / 対日限定800セット)	252,000円
	E. 100ユーロ金貨<ランナー>(対日限定500枚)	714,000円
	F. 銀貨3種セット(①②③ / 対日限定2,500セット)	25,200円

※いずれも税込み価格です。
※すべて特製ケースと発行証明書を添付します。
※銀貨はセット販売のみです。

規格及び発行限度数■

	100ユーロ金貨 (E)	20ユーロ金貨 (A. B. C)	1・1/2ユーロ銀貨 (①②③のセット=F)
品 位	99.9%	92.0%	90.0%
重 量	155.55g	17.0g	22.2g
直 径	50mm	31mm	37mm
状 態	プルーフ	プルーフ	プルーフ
発行限度数	999枚	各3,000枚	各10,000枚
対日限定数	500枚	(3種セットは800セット)	2,500セット
デ ザ イ ン	ランナー	ランナー/ジャンパー スローワー	ランナー/ジャンパー スローワー

※プルーフとは表面を鏡のように美しく磨いた特別仕上げです。

- 発売開始日 ■ 平成15年8月25日(月) 全国一斉発売開始
 鑄造・発行 ■ フランス国立造幣局
 総輸入元 ■ 泰星コイン株式会社

本件に関するお問合せ先

「世界陸上パリ大会公式記念コイン」事務局(泰星コイン内)
 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-9-4 西野金陵ビル4階
 TEL 03 (3297) 8228 担当/本田・馬場・庄司・砂川
 FAX 03 (3297) 8227 E-mail: secretariat@taiseicoins.com





9th IAAF
WORLD CHAMPIONSHIPS
IN ATHLETICS COIN PROGRAM

第9回世界陸上競技選手権パリ大会公式記念コイン
デザインと解説

金貨・銀貨共通裏面



ノートルダム寺院、凱旋門をはじめとしたフランスを象徴する建造物を背景にした表彰台に、フランスの精神「自由・平等・博愛」の文字。さらに大会エンブレム、フランス国名、額面が刻まれています。

※写真は20ユーロ金貨



<大会エンブレム>

星のリングから浮かび上がった勝利者のシルエット（ヒーローやヒロイン）を表現。

ランナー／COURIR



20ユーロ金貨



1・1/2ユーロ銀貨



100ユーロ金貨



※側面部分

100ユーロ金貨は発行限度999枚につき、側面部分に発行証明書と同じ固有の製造番号が刻印されています。

ランナー(短距離走選手)が、ギリシャ雷文模様*の上を疾走し、背景のパリ市内セーヌ川にかかるポン・ヌフ橋(新橋)とポン・テザール橋(芸術橋)を駆け抜けてアテネへのゴールを目指しています。COURIRはフランス語で「走る」の意。

ジャンパー／SAUTER



20ユーロ金貨



1・1/2ユーロ銀貨

しなやかな背面飛びで高く跳躍するジャンパー(走り高跳び選手)は、ギリシャ雷文模様*のバーに見立てたトゥール橋を飛び越えてアテネに着地します。SAUTERはフランス語で「飛ぶ」の意。

スローワー／LANCER



20ユーロ金貨



1・1/2ユーロ銀貨

ギリシャ雷文模様*のサークル内から力強く投てきする瞬間のスローワー(砲丸投げ選手)が、鉄球を背景のピル・アケム橋を越してアテネに到達させます。LANCERはフランス語で「投げる」の意。

参 考

*雷文(らいもん)模様

ギリシャの雷文模様は、直線の組み合わせによる四角形の渦巻きが連なる幾何学的な模様。この雷文や卍(まんじ)模様を連続させるものを建築学上<メアンダー>とも言う。

ローマ美術において見られ、また後の18世紀の装飾にも見られる。





9th IAAF
WORLD CHAMPIONSHIPS
IN ATHLETICS COIN PROGRAM

発売窓口一覧

- 都市銀行** みずほ銀行、三井住友銀行、りそな銀行、埼玉りそな銀行 (4)
- 地方銀行** 足利銀行、阿波銀行、池田銀行、伊予銀行、岩手銀行、関東つくば銀行、近畿大阪銀行、群馬銀行、山陰合同銀行、四国銀行、清水銀行、十八銀行、常陽銀行、親和銀行、スルガ銀行、筑邦銀行、千葉興業銀行、中国銀行、東北銀行、鳥取銀行、富山銀行、八十二銀行、百十四銀行、広島銀行、福井銀行、福岡銀行、北越銀行、北陸銀行、北海道銀行、北國銀行、武蔵野銀行、山口銀行、山梨中央銀行 (33)
- 第二地方銀行** 愛知銀行、愛媛銀行、香川銀行、高知銀行、島根銀行、殖産銀行、東和銀行、徳島銀行、栃木銀行、富山第一銀行、東日本銀行 (11)
- 労働金庫各支店**

参 考

世界陸上

世界陸上(世界陸上競技選手権)は、その名の通り世界のトップアスリートが集う陸上の世界大会で、第1回大会は1983年にフィンランドのヘルシンキで行われ、オリンピックを上回る154の国と地域が参加しました。当初は4年に一度の開催で91年には東京で第3回大会が開かれましたが、93年から2年に一度、オリンピックの前後の年に開かれるようになりました。また、別名「世界新記録大会」とも言われる程ワールドレコードが誕生する大会でもあります。過去8回の大会でマークされた世界新記録は16個で、今やその規模、注目度の高さでもオリンピック、サッカーの世界カップと並ぶ世界三大スポーツイベントとなっています。

大会名：第9回世界陸上競技選手権パリ大会
開催日：2003年8月23日(土)～31日(日)
開催地：パリ／スタッド・ド・フランス
種目数：46
参加国／人数：210の国、地域／2,000人

	これまでの開催地	
第1回大会	1983年	ヘルシンキ (フィンランド)
第2回大会	1987年	ローマ (イタリア)
第3回大会	1991年	東京 (日本)
第4回大会	1993年	シュツットガルト (ドイツ)
第5回大会	1995年	イエテボリ (スウェーデン)
第6回大会	1997年	アテネ (ギリシャ)
第7回大会	1999年	セビリヤ (スペイン)
第8回大会	2001年	エドモントン (カナダ)
第9回大会	2003年	パリ (フランス)

フランス国立造幣局／モネ・ド・パリ

フランスの貨幣製造の歴史は、貨幣関係事業を統合したシャルルマーニュ大帝の時代9世紀にさかのぼります。15世紀、ルネッサンスの到来とともにメダルの製造が始まり、17世紀にはルイ14世によるメダル革新が行われました。その後1768年から約6年間かけてセーヌ河畔にあるコンティ館に造幣局が建設され、1879年には現在のコイン・メダル庁が発足しました。

この度のユーロ流通貨では参加国で最初に製造を開始しました。

